

SUFD Report 2019

令和元(2019)年度 仙台大学FD年次活動報告



報 告 REPORT

本学では、教員を中心にFD活動を実施している。主な事業内容は、(1) 学内FD研修会の企画運営実施、(2) 授業改善アンケートの実施、(3) シラバス作成の支援、(4) FD活動の広報・周知である。

(1) 学内FD研修会の企画運営実施

本年度は、次の4つのFD研修会を実施した。

① 新任教員FDセミナー

4月2日に今年度着任した新任教員を対象としたスタートアップ支援FDセミナーを開催した。本学のカリキュラムをはじめとする教務に関する事項とFD活動等について説明をした。

② 学修状況の概要報告およびアセスメントポリシーを踏まえた成績評価についての研修会

本学では7月1日～7月28日にかけて、学生に対する支援と指導のために日常の学生の学修状況についての基礎的な資料を得ることを目

的とした学修状況調査を全学生に実施した。この調査結果について9月17日に全教員に報告する研修会を開催した。この調査結果を通して、学年、学科、希望する進路、スポーツ活動の有無等と学習状況との関係が示された。

③ 授業づくりのためのFD研修会

本学では学生と教員が参加する研修会を毎年開催している。今年度は「大学における理想の授業とは」をテーマに掲げ、12月3日に研修会を開催した。教員と学生ごとにグループに分かれ、授業や評価の方法や要望、授業に関する悩み、面白い授業についての意見を出し合った。その後、教員と学生が入り混じったグループを

再構成し、教員と学生のそれぞれの立場から、「大学における理想の授業」とはどのようなものなのかについて討論をした。

④ シラバス作成研修会

本学では学生にとってよりわかりやすいシラバスとするために、教員に配布している「シラバス作成の手引き」を毎年加筆修正している。本年度はシラバス書式の作成時の留意点についての研修会を11月29日に開催した。

(2) 授業改善アンケートの実施

原則としてすべての科目を対象に「FDネットワーク“つばさ”」のフォーマットで「授業改善アンケート」を受講学生全員に実施している。個々の授業の改善を目指し、授業内容・教授方法に対する学生の反応を探ることが、本アンケートの大きな狙いの一つである。また、本学独自の「授業改善アンケート活用フォーム」を用いて、集計結果を基に各教員が担当科目と全体平均などとの比較が出来るようになっている。

(3) シラバス作成の支援

シラバスは学生に対して授業内容を示すだけでなく、大学設置基準や認証評価等への対応も兼ねており、教学経営において重要なものであると考える。シラバスを作成すること自体がFD活動の一環であり、教育改善企画運営委員会では毎年次年度の様式や記載内容の項目について検討し、統一様式により原則すべての開講科目について作成を依頼している。学生にとってよりわかりやすいシラバスとするために、本年度も教員に配布しているシラバス作成要領（「シラバス作成の手引き」）を加筆修正した。なお、シラバスは本学ホームページにも掲載し、保護者等も閲覧できるようにしている。

(4) FD活動の広報・周知

① FD広報冊子の作成

本学では、FD広報冊子（SUFD Report）を年に1度発行している。本年度発行するもので第8号となる。この冊子の発行の目的は、本学の教育改善企画運営委員会が実施しているFD活動の内容を、学内外に周知することである。

② 学外のFD研修会情報の提供

学外において開催されているFD研修会についての情報提供を行っている。メールやポスター等で届いた開催案内を教員向けに整理し、全教員を対象にメールで周知をしている。



報 告 REPORT

2019 年度 新任教員のための FD セミナー



開催プログラム

日 時：2019 年 4 月 2 日（火）11：00 ～ 12：30

会 場：A 棟 2 階 大会議室

持ち物：学生便覧、授業概要（どの学科でも）、オリエンテーション資料、TIMETABLE

時刻	内容									
11:00	開会挨拶									
11:05	教務について ① 履修登録と成績評価 ② 教室での機材の利用 ③ 学生の出欠管理 ④ 学生への連絡・告知 ⑤ 休講 ⑥ オフィスアワー ⑦ その他									
11:25	カリキュラムについて ① カリキュラムポリシー ② カリキュラム全体の編成 ③ 担任制 ④ 教養演習科目									
11:40	FD 活動について ① FD 活動とは ② シラバス（授業概要） ③ 授業改善アンケート ④ FD 研修会									
11:55	フリートーク <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>グループ</th> <th>新任教員</th> <th>FD 委員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>高橋仁、金一坤</td> <td>林*、平良</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>荒木貞義、小勝健司</td> <td>郡山*、藪、日下</td> </tr> </tbody> </table> *コーディネーター役	グループ	新任教員	FD 委員	①	高橋仁、金一坤	林*、平良	②	荒木貞義、小勝健司	郡山*、藪、日下
グループ	新任教員	FD 委員								
①	高橋仁、金一坤	林*、平良								
②	荒木貞義、小勝健司	郡山*、藪、日下								
12:25	閉会挨拶									

報告 REPORT

FD 研修会

「令和元年度学習状況調査の概要報告」

日 時：令和元年9月17日（火）17時30分～18時00分

会 場：第5体育館2階大教室

講 師：教育改善企画運営委員会 平良拓也委員

参加者：全教員

本研修会は①前期中に実施した学習状況調査の結果を通し、本学学生への理解を深めることを目的として実施した。

今年度、全学生を対象として実施した「学修状況調査」の結果を集計した資料を基に、教育改善企画運営委員会の平良拓也委員から、学年、学科、希望する進路、スポーツ活動の有無等と学習状況との関係が示された集計結果の報告と共に、今後の学生への対応について問題提起がなされた。



令和元年度 仙台大学FD研修会

令和元年度学修状況調査の概要報告

- ①開会・研修会の趣旨説明
- ②報告
- ③質疑
- ④閉会

令和元年9月17日(火)教授会終了後
教育改善企画運営委員会

研修会の目的

前期中に実施した学修状況調査の結果を把握し
本学学生への理解を深める

令和元年度学修状況調査の概要報告

【目的】

学生に対する支援と指導のため、日常の学修状況についての基礎的な資料を得ること。

【調査内容】

- ①基礎的情報:性別、学年、学科
- ②授業時間以外での自主的な学習時間
- ③授業時間以外での運動やスポーツ活動の時間
- ④大学での学習で最も力を入れていること
- ⑤高校3年時での授業時間以外での自主的な学習時間
- ⑥高校3年時での授業時間以外での運動やスポーツ活動の時間
- ⑦卒業後の進路として最も希望していること

【調査対象 / 方法 / 期間】

全学生 / 質問紙(マークシート)調査 / 令和元年7月1日(月)～7月26日(金)

まとめ

1. 全体として学習時間が長いとはいえない。
四年生を除いて、自習的な学習を十分にしている学生が少ない。四年生で学習時間が相対的に長くなっているのは、教員採用試験など就職対策のための学習の必要性和関連があると考えられる。
2. 1年次には資格や免許の取得を目標とする学生が60%弱と最も多いが、この割合は学年の進行とともに低くなる。
それに対して「教養を身につける」ことを重視する学生が増加している。
3. 進路の希望として1年次では教員希望が最も多いが、学年が進むにつれてその割合は減少する。それに対して一般企業を目指す学生が増加している。
一方、「公務員」、「スポーツ関連の職業」を目指す学生はいずれの学年においてもある程度の割合見られる。
4. 高校三年生の時に学習時間が短かったが、大学で学習時間が長くなる学生もみられる。

報 告 REPORT

令和元年度 学生主体の授業づくりのためのFD研修会 「大学における理想の講義とは」

日 時：令和元年12月3日（火） 14：20～16：20
 会 場：場所：LC棟2階 会議室
 参加者：教員7名、学生12名



プログラム

- 14：20 1 開会（司会：針生委員）
- 2 話題提供（高橋委員長）
- 14：30 3 ディスカッションⅠ（教員、学生が別れての話し合い）
- <議論の内容>
- 教員グループ：①授業方法の工夫、②評価方法の工夫、③授業に関する悩み
- 学生グループ：①授業方法への要望、②評価方法への要望、③こんな授業が面白い
- 15：00 4 発表
- 15：10 5 ディスカッションⅡ（教員、学生が混合での話し合い）
- <議論の内容>
- 大学における理想の授業とは
- 15：50 6 発表、質疑応答
- 16：10 7 閉会の挨拶（高橋委員長）



ディスカッションⅠ

	1班	2班	3班	4班
教員	高橋 仁 荒木 貞義 金 一坤 馬目 知人 *郡山委員	井上 貴博(健4) 我妻 祐依(運2) 上泉 将磨(現4) 青田 翔(こ2) *林委員	松田ほのか(体4) 星 京香(運4) 谷地 勁冴(ス2) 清野 綾乃(こ2) *針生委員	大森 悦生(体4) 岩井 祐大(健4) 古川 知夏(ス2) 小林みなみ(現4) *高橋委員
学生				

*ファシリテーター

ディスカッションⅡ

	1班	2班	3班
教員	*郡山委員 高橋 仁 荒木 貞義	*林委員 金 一坤	*針生委員 馬目 知人
学生	大森 悦生(体4) 岩井 祐大(健4) 古川 知夏(ス2) 小林みなみ(現4)	松田ほのか(体4) 星 京香(運4) 谷地 勁冴(ス2) 清野 綾乃(こ2)	井上 貴博(健4) 我妻 祐依(運2) 上泉 将磨(現4) 青田 翔(こ2)

*ファシリテーター

2019.12.3 FD 研修会資料

<p style="text-align: center;">令和元年度 FD研修会 「大学における理想の授業とは」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会(司会:針生委員) 2. 話題提供(高橋委員) 3. ディスカッション 4. 発表・質疑応答 5. 閉会の挨拶 <p style="text-align: right; font-size: small;">令和元年11月1日(火) 教育改善企画運営委員会</p>	<p style="text-align: center;">研修会の目的</p> <p>前期中に実施した学修状況調査の結果を把握し 本学学生への理解を深める</p>	<p style="text-align: center;">令和元年度学修状況調査の概要報告</p> <p>【目的】 学生に対する支援と指導のため、日常の学修状況についての基礎的な資料を得ること。</p> <p>【調査内容】 ①基礎的情報:性別、学年、学科 ②授業時間以外での自主的な学習時間 ③授業時間以外での運動やスポーツ活動の時間 ④大学での学習で最も力を入れていること ⑤高校3年時での授業時間以外での自主的な学習時間 ⑥高校3年時での授業時間以外での運動やスポーツ活動の時間 ⑦卒業後の進路として最も希望していること</p> <p>【調査対象 / 方法 / 期間】 全学生 / 質問紙(マークシート)調査 / 令和元年7月1日(月)~7月26日(金)</p>
---	--	--

.....
グループディスカッションの記録
.....

ディスカッション I

<教員グループ>

- ①授業方法の工夫
 - ・レポートの提出はメールで受け付ける
 - ・毎時間振り返りシートを作らせている
 - ・学生の玉枝を覚える努力
 - ・自分自身の体験を伝える工夫
 - ・グループワークを用いて授業に飽きさせないような工夫
 - ・コミュニケーションを円滑に進めるために声掛けの工夫
 - ・なるべく平易な説明を心掛ける
 - ・YouTube や写真などの活用
- ②評価方法の工夫
 - ・段階的評価にしている
 - ・評価基準をできるだけ明確にしている
- ③授業に関する悩み
 - ・学生との距離感
 - ・中高生と大学生との違いに戸惑うことがある
 - ・自分自身の大学の頃と現在の大学との雰囲気の違いに戸惑う

<学生グループ>

- ①授業方法への要望
 - ・パワポを見やすく作成して欲しい
 - ・大きな字や濃い字で板書して欲しい
 - ・教科書の以外の内容も説明して欲しい
 - ・ディスカッションの授業は楽しく集中できるため沢山取り入れて欲しい
 - ・指定席にして、意欲のある人を前にして欲しい
 - ・スポーツや部活動、免許資格など身近に思える授業をして欲しい
 - ・質問をしやすくして欲しい
 - ・教科書を指定するのであればきちんと使用した授業を行って欲しい
 - ・意欲のない学生には注意して欲しい
 - ・動画や映像を活用して欲しい
 - ・休講に関する情報は当日に出すのではなく事前に知らせて欲しい
- ②評価方法への要望
 - ・評価基準を学期の最初に示してほしい
 - ・レポートやテストを返却してフィードバックして欲しい(何が良くて何が悪かったのかを知りたい)
 - ・評価の観点を知りたい
 - ・欠席届の取り扱いについて大学全体で統一ルールを作って欲しい
 - ・レポートや学習意欲(発言など)も含めて総合的に評価して欲しい
- ③こんな授業が面白い
 - ・先生自身の体験談を話してくれる授業
 - ・教員と学生の立場がフラットな授業
 - ・教員が楽しそうに展開している授業
 - ・学生の意見から話題を広めていく授業
 - ・学生の参加型、体験型の授業



ディスカッション II

- Q. 大学における理想の講義とは
- ・学生がルールを守っていることを前提として教員が笑顔でフレンドリーな授業
 - ・学生を注意してもそれを引きずらずに切り替えて展開される授業
 - ・教員と学生が話しやすい授業
 - ・授業内容を理解しやすい授業
 - ・90分の中で学生が中心となる時間を設ける授業



FD 研修会

「シラバス作成研修会」

- I. シラバスの作成方法などについて**
- II. ルーブリックの作成方法などについて**

日 時：令和元年 11 月 29 日（金）12 時 00 分～12 時 30 分
 会 場：LC 棟 2 階会議室
 講 師：教育改善企画運営委員会 高橋徹委員長



本学では学生にとってよりわかりやすいシラバスとするために、教員に配布している作成要領を、毎年加筆修正している。本年度はそのシラバス書式の変更点や作成時の留意点、および来年度から導入するルーブリックの作成要領についての研修会を実施した。来年度から、新たに設定された記載欄や記載方法の変更について説明した。わかりやすいシラバスになるように、それぞれの変更箇所とともに、それぞれの記載の方法についても説明をした。また、次年度から導入するルーブリックについては、ルーブリックとは「何か」についてを説明し理解してもらったうえで、どのように作成すればよいかを記載例を交えながら説明をした。



SUFD Report2019 令和元年度仙台大学 FD 年次活動報告

編 集：仙台大学 教育企画部 教育改善企画運営委員会

委員長：高橋 徹

委 員：針生 弘 郡山孝幸 林 直樹 藪耕太郎 福田伸雄 平良拓也

発 行：仙台大学

〒989-1693 宮城県柴田郡柴田町船岡南2丁目2番18号 電話：0224-55-1121（代表）

制作・DTP：株式会社仙台紙工印刷

発行年月日：2020年3月4日